

伊賀市環境基本計画（計画の基本事項～現況把握）

1. 計画の基本的事項

1.1 計画策定の背景

今日の環境問題は、生活排水による公共用水域の水質悪化や自動車交通に起因する排ガスや騒音問題、ごみの不法投棄などの廃棄物問題、里山など身近な自然環境の減少など、特定の事業活動に伴うものだけでなく、大量生産、大量消費、大量廃棄型の日常生活や通常の事業活動に起因し多様化しています。伊賀市（以下「本市という」）では、近年、産業廃棄物の適正処理の問題や周囲が山林で囲まれていることから、ごみの不法投棄の問題が顕在化しています。

また、有害な化学物質であるダイオキシン類、環境ホルモンなどによる環境汚染リスクもあり、住民が安心して生活ができる環境の確保に向けた取り組みが求められています。

本市では「恵み豊かな環境を保全し、更に市民の健康で安全かつ快適な文化的生活を営むことができる環境を確保するとともに、この環境を現在の世代が享受し、それらを次世代に継承していく」ことなどを基本理念として、平成16年11月に「伊賀市環境基本条例」を制定しました。

人類の活動に伴って発生する温室効果ガスの濃度上昇による地球温暖化についても、特に、近年その影響が顕在化してきました。政府からは、2030年に温室効果ガスの排出量を2013年度比46%削減、さらに、2050年度には、脱炭素社会を実現するため、カーボンニュートラル（実質排出ゼロ）に向けての挑戦が発表されました。

本市では、地球温暖化対策として「伊賀市地球温暖化対策実行計画」（事務事業編）を策定し、本市が行う事務事業について、「伊賀市EMS」活動に積極的に取り組み、温室効果ガス削減に努めています。

しかし、広域的で様々な環境問題に対応していくためには、市民、市民団体、事業者、行政の協力によって人と自然、人と人々が健全で共生する快適な環境を確保することも大切です。

これらのことを実現するためには、これまでの生活習慣や社会経済構造そのものを環境負荷の少ないものへと転換するとともに持続可能な循環型社会に向けた取り組みが求められ、あらゆる分野で環境に配慮した取り組みを進めていくなど総合的、計画的な施策への展開が求められています。

1.2 計画の目的

本計画は、「伊賀市環境基本条例」（平成16年11月1日制定）に基づいて策定するものであり、本市における環境保全に関する目標、基本的方向等を示し、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進することにより、「伊賀市環境基本条例」の基本理念を具体化します。

平成17年12月に宣言された「環境保全都市宣言」の理念に基づき、国、県、周辺市町と連携し、豊かな自然環境に恵まれた安全で快適な生活を営むことができる環境を長期にわたり確保するとともに、循環型の環境に配慮したまちづくりの推進や持続可能な社会の実現を目指すことを目的としています。

今回の計画は、前回の「伊賀市環境基本計画」～豊かな恵みのなかで人と自然が共生するまち伊賀での取り組みが平成27（2015）年度で終了したことにより、新たに本市における持続可能な発展と、人と環境の共存ができる環境づくりを行っていくことなどを目的として、今後9年間についての計画を策定することとしました。

【伊賀市環境基本条例】

第9条

市長は、特に必要があると認めるときは、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための基本的な計画（以下「環境基本計画」という。）を策定することができる。

2 環境基本計画は、次に掲げる事項を定めるものとする。

（1）環境の保全に関する目標、基本的方向及びその配慮

（2）前条に定めるもののほか、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

（以下省略）

【環境保全都市宣言】

私たち伊賀市民は、澄んだ空気、きれいな川、緑豊かな自然の中で健やかに潤いのある暮らしができることを願っています。

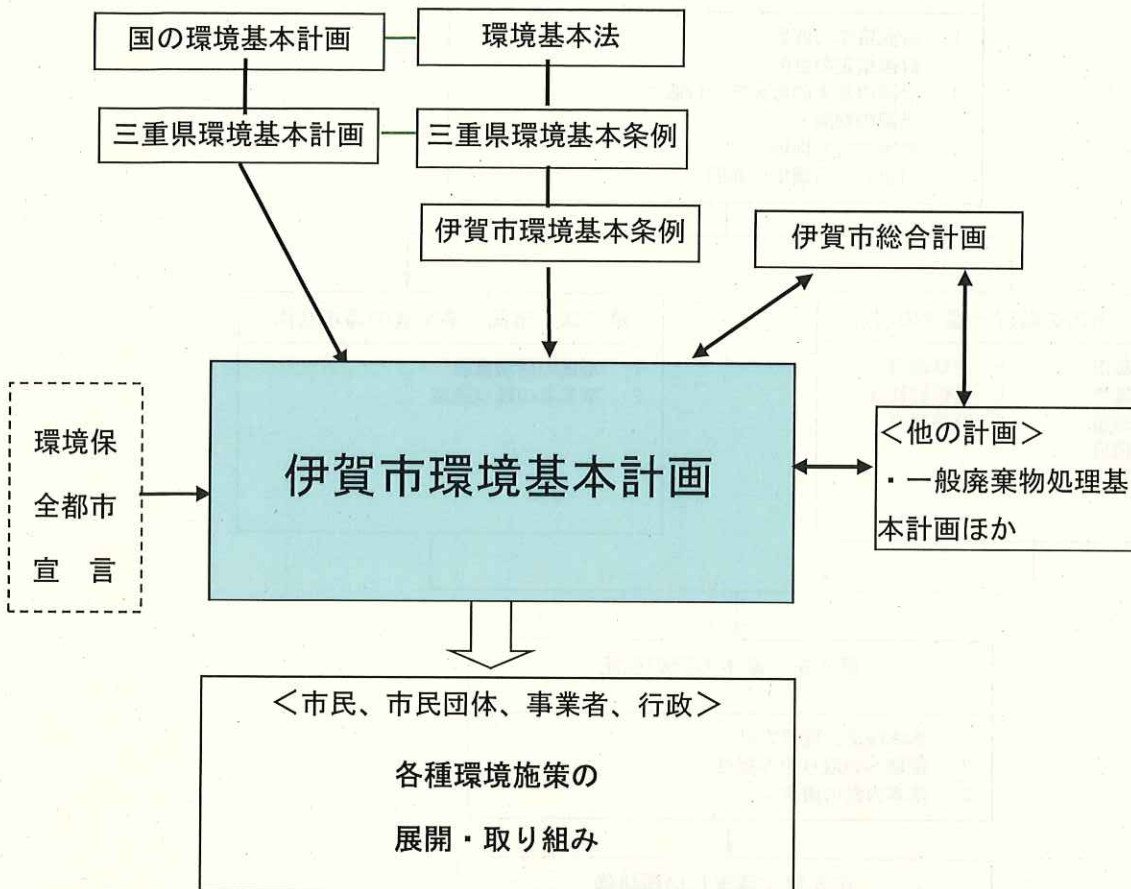
しかし、近年の社会経済活動や生活様式の変化は、私たちの暮らしに便利さや物質的な豊かさをもたらす一方で環境への負荷を増大させ、人類の生存基盤である地球環境にも深刻な影響を与えています。

私たちは、四方に連なる山々、淀川源流域となる木津川の清流など、芭蕉も愛したかけがえのない伊賀の自然を守り、自然と共生するまちづくりを進めるとともに、良好な環境を次世代へ引き継ぐ責務を負っています。

よって、伊賀市は、市民、事業者及び市が一体となって、良好な環境の保全、環境にやさしい循環型社会の実現を目指し、ここに「環境保全都市」を宣言します。

平成17年12月21日

1.3 計画の基本的考え方・位置づけ



1.4 計画の期間

令和4年度～令和12年度(9年間)

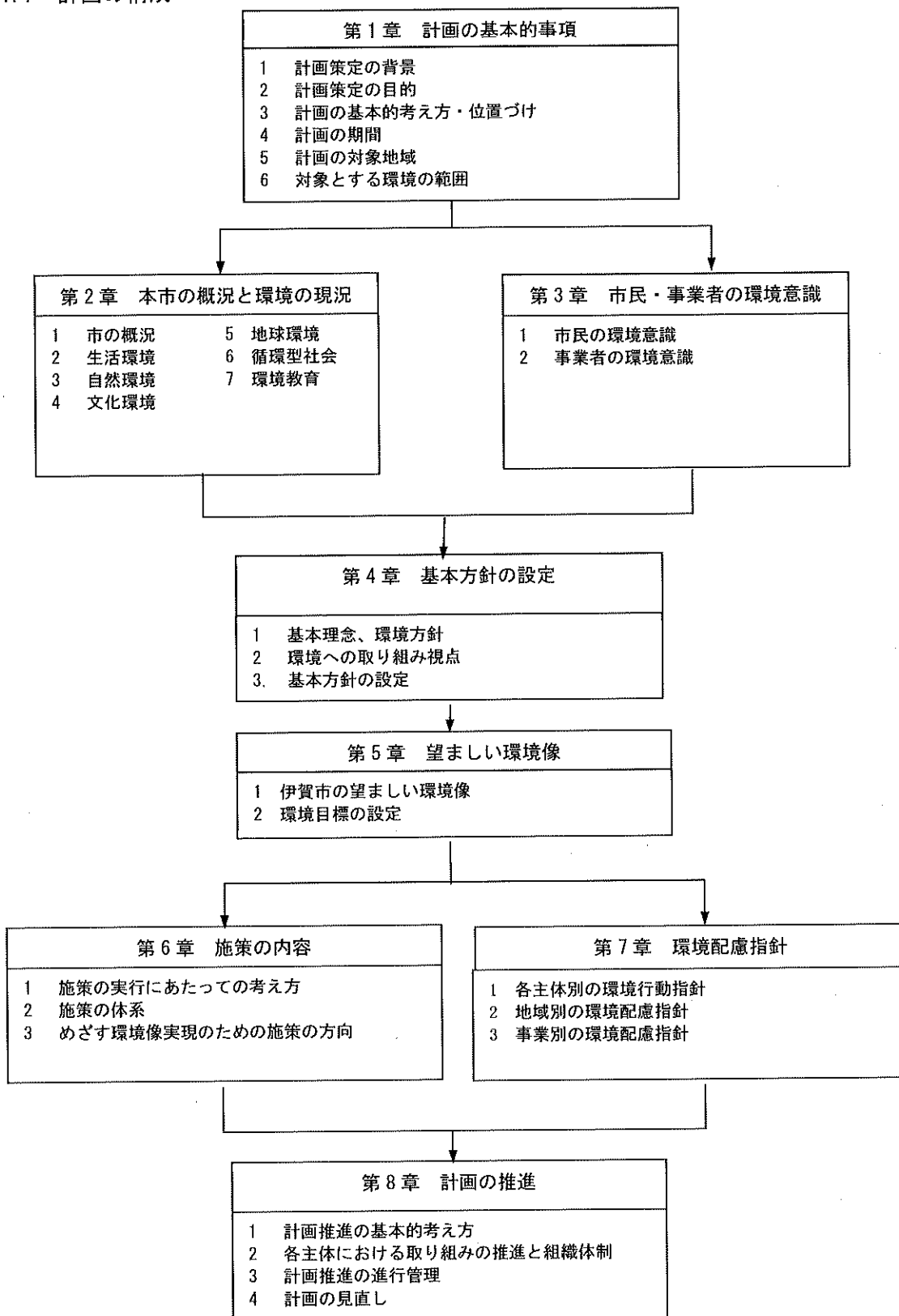
1.5 計画の対象地域

伊賀市全域

1.6 対象範囲

「生活環境」(大気、水質等)、「自然環境」(地形、気候、動植物等)、「文化環境」(景観、歴史等)、「地球環境」(地球温暖化等)、「循環型社会」(廃棄物、リサイクル等)、「教育環境」(環境教育)

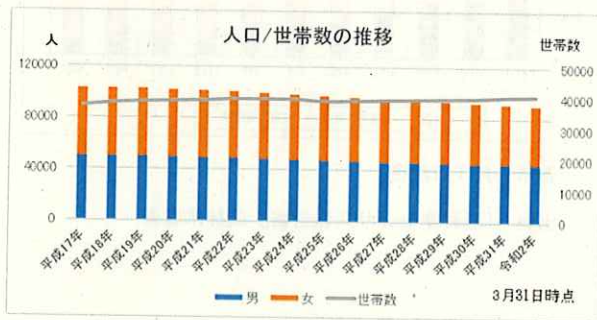
1.7 計画の構成



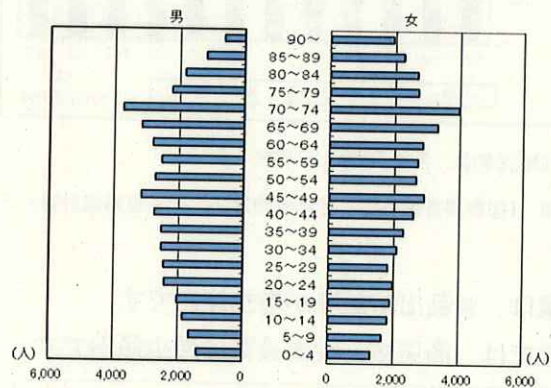
2 本市の概況と環境の現況

2.1 本市の概況

- ・本市の面積は、558.23km²です。
- ・伊賀市は、平成16年11月1日に、旧上野市、旧伊賀町、旧島ヶ原村、旧阿山町、旧大山田村、旧青山町の6市町村が合併し誕生しました。
- ・水系は、大阪湾に流れ込む淀川の源流域で、近畿圏域の水源地となっています。
- ・まちは、古くは、飛鳥、奈良、京都などの都に隣接する地域として、また、交通の要衝として、近世江戸時代には藤堂家の城下町や伊勢神宮への参宮者の宿場町として繁栄してきました。
- ・水道水の供給は、昭和9年に上野地区で水道事業が創設され、昭和11年に給水を開始したことが始まりです。
- ・下水道は、昭和3年、上野地区において都市下水路を敷設したことが始まりです。
- ・人口は、令和3年5月31日現在で89,167人、内訳は男43,771人、女45,396人、世帯数40,699戸である。
- ・人口構成は、男女とも70～74歳の人口が最も多い状況です。



住民基本台帳 令和3年5月末現在



住民基本台帳 令和3年5月末現在

- ・人口は緩やかに減少、空き家は増加している。

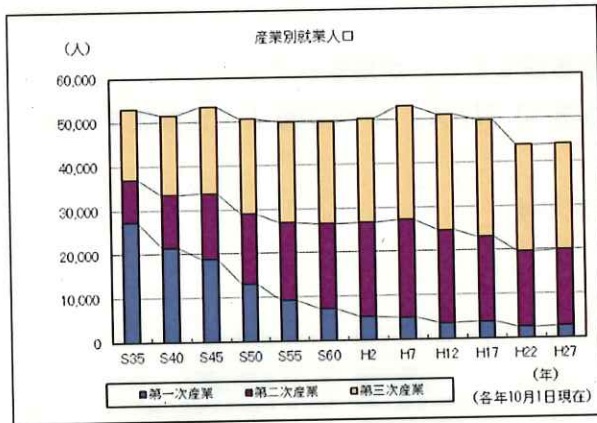


引用 平成30年住宅・土地統計調査

- ・ 昼間の流入人口が流出人口より多くなっています。

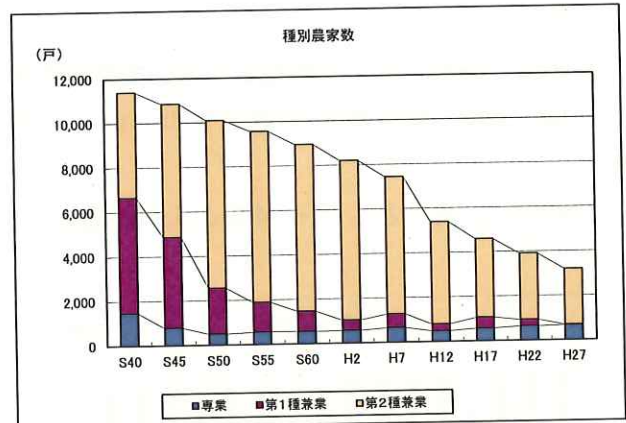
	夜間人口		昼間流入人口			昼間流出人口			差引純流入			昼間人口 (5)=(1)+(4)	昼間流動 人口 (2)+(3)	昼間人口 膨張係数 (5)/(1)	昼間 流入率 (2)/(1)	昼間 流出率 (3)/(1)	昼間流動 率 (2)+(3)
	(1)	総数(2)	就業者	通学者	総数(3)	就業者	通学者	総数(4)	就業者	通学者							
平成17年 伊賀市	100,617	13,563	12,408	1,155	10,775	8,591	2184	2,788	3,817	△ 1,029	103,405	24,338	1.028	13.48	10.71	24.19	
平成22年 伊賀市	97,207	13,331	12,572	759	9,286	7,335	1951	4,045	5,237	△ 1,192	101,252	22,617	1.042	13.71	9.55	23.27	
平成27年 伊賀市	90,581	13,783	13,188	595	8,938	7,109	1829	4,845	6,079	△ 1,234	95,426	22,721	1.053	15.22	9.87	25.08	

- ・ 産業構成を示しましたが、第一次産業の従事者はかなり少なくなってきました。
- ・ 農家については、兼業農家の割合が高いです。



常住地就業者。各年10月1日現在

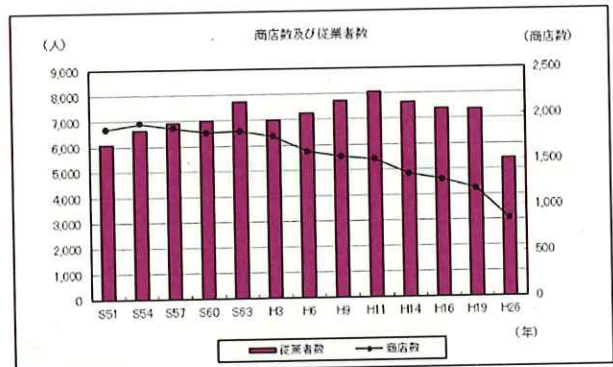
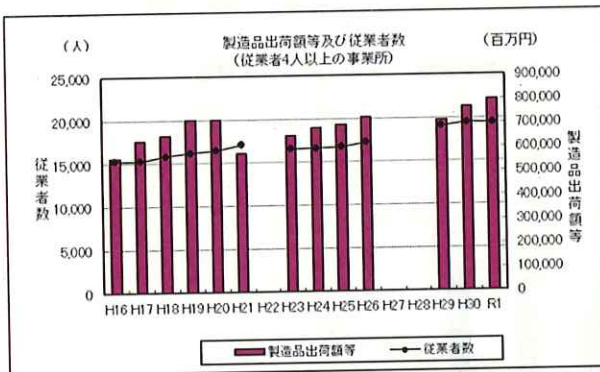
出典：「国勢調査報告書」総務省統計局 「三重県統計書」三重県



各年2月1日現在

出典：「農林業センサス報告書」農林水産省

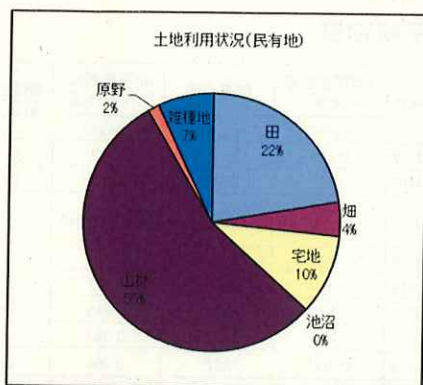
- ・ 工業は、製品出荷額等が増加傾向です。
- ・ 商業では、商店数、従業員数は減少傾向です。



注：各年12月31日現在。R1～H29年は、6月1日現在従業員4人以上の事業所

出典：「工業統計表」経済産業省、「三重の工業」三重県統計調査室

- ・土地利用は、山林が多いです（民有地）。



- ・道路は、国道 25、163、165、368、422 号等、鉄道は JR 関西線、草津線、近鉄大阪線、伊賀鉄道線
- ・長距離バス（東京、大阪、名古屋）、三重交通、コミュニティバスが運行しています。

・環境大気：概ね良好です。（光化学オキシダントを除く）※出典：環境白書

二酸化硫黄

測定局	年度	1時間値の最大値	年平均値	日平均値の2%除外値	環境基準達成状況
		ppm		ppm	
上野玄蕃	H12	0.100	0.006	0.015	○
上野玄蕃	H13	0.135	0.005	0.013	○
上野玄蕃 緑ヶ丘中学校	H14	0.019~0.045	0.004~0.006	0.006~0.012	-
上野緑ヶ丘中学校	H15	0.038	0.005	0.008	-
伊賀緑ヶ丘中学校	H16	0.047	0.007	0.015	○
伊賀緑ヶ丘中学校	H17	0.078	0.008	0.021	○
伊賀緑ヶ丘中学校	H18	0.078	0.010	0.025	○
伊賀緑ヶ丘中学校	H19	0.073	0.008	0.021	○
伊賀緑ヶ丘中学校	H20	0.047	0.005	0.012	○
伊賀緑ヶ丘中学校	H21	0.083	0.004	0.008	○
伊賀緑ヶ丘中学校	H22	0.057	0.002	0.004	○
伊賀緑ヶ丘中学校	H23	0.046	0.002	0.004	○
伊賀緑ヶ丘中学校	H24	0.010	0.002	0.003	○
伊賀緑ヶ丘中学校	H25	0.009	0.001	0.003	○
伊賀拓植 伊賀緑ヶ丘中学校	H26	0.008~0.010	0.001	0.002~0.003	○
伊賀拓植 伊賀緑ヶ丘中学校	H27	0.008	0.000~0.002	0.002~0.003	○
伊賀拓植 伊賀緑ヶ丘中学校	H28	0.008~0.010	0.001	0.002~0.003	○
伊賀緑ヶ丘中学校	H29	0.008	0.001	0.003	○
伊賀緑ヶ丘中学校	H30	0.011	0.001	0.002	○
伊賀緑ヶ丘中学校	R1	0.010	0.001	0.002	○

注) 環境基準(長期的評価) 達成状況: ○達成、●: 未達成

二酸化窒素

測定局	年度	1時間値の最大値	年平均値	日平均値の年間98%値	環境基準達成状況
		ppm		ppm	
上野玄蕃	H12	0.063	0.015	0.029	○
上野玄蕃	H13	0.060	0.015	0.029	○
上野玄蕃、上野緑ヶ丘中学校	H14	0.057~0.065	0.013~0.018	0.025~0.031	-
上野緑ヶ丘中学校	H15	0.063	0.016	0.031	○
伊賀緑ヶ丘中学校	H16	0.079	0.017	0.031	○
伊賀緑ヶ丘中学校	H17	0.068	0.015	0.029	○
伊賀緑ヶ丘中学校	H18	0.059	0.014	0.028	○
伊賀緑ヶ丘中学校	H19	0.051	0.012	0.024	○
伊賀緑ヶ丘中学校	H20	0.048	0.011	0.023	○
伊賀緑ヶ丘中学校	H21	0.052	0.010	0.021	○
伊賀緑ヶ丘中学校	H22	0.059	0.012	0.024	○
伊賀緑ヶ丘中学校	H23	0.048	0.010	0.020	○
伊賀緑ヶ丘中学校	H24	0.048	0.008	0.019	○
伊賀緑ヶ丘中学校	H25	0.054	0.011	0.024	○
伊賀拓植 伊賀緑ヶ丘中学校	H26	0.053~0.056	0.010	0.021~0.023	○
伊賀拓植 伊賀緑ヶ丘中学校	H27	0.046~0.053	0.010	0.021~0.022	○
伊賀拓植 伊賀緑ヶ丘中学校	H28	0.048~0.055	0.008	0.018	○
伊賀緑ヶ丘中学校	H29	0.044	0.008	0.019	○
伊賀緑ヶ丘中学校	H30	0.051	0.008	0.019	○
伊賀緑ヶ丘中学校	R1	0.050	0.007	0.016	○

注) 環境基準(長期的評価) 達成状況: ○達成、●: 未達成

光化学オキシダント

測定局	年度	昼間の1時間値の最高値 ppm	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数と時間数		環境基準達成状況
			日	時間	
上野玄蕃	H12	0.106	75	391	●
上野玄蕃	H13	0.114	70	351	●
上野玄蕃、上野緑ヶ丘中学校	H14	0.074~0.091	16~18	52~56	●
上野緑ヶ丘中学校	H15	0.141	102	515	●
伊賀緑ヶ丘中学校	H16	0.130	90	507	●
伊賀緑ヶ丘中学校	H17	0.116	68	291	●
伊賀緑ヶ丘中学校	H18	0.080	19	44	●
伊賀緑ヶ丘中学校	H19	0.102	24	79	●
伊賀緑ヶ丘中学校	H20	0.092	36	136	●
伊賀緑ヶ丘中学校	H21	0.130	73	493	●
伊賀緑ヶ丘中学校	H22	0.140	105	613	●
伊賀緑ヶ丘中学校	H23	0.106	49	265	●
伊賀緑ヶ丘中学校	H24	0.136	89	500	●
伊賀緑ヶ丘中学校	H25	0.133	98	533	●
伊賀柘植 伊賀緑ヶ丘中学校	H26	0.111~0.114	76~84	435~501	●
伊賀柘植 伊賀緑ヶ丘中学校	H27	0.111~0.115	80~89	428~467	●
伊賀柘植 伊賀緑ヶ丘中学校	H28	0.099~0.104	59~65	348~383	●
伊賀柘植 伊賀緑ヶ丘中学校	H29	0.124~0.139	76~86	444~475	●
伊賀柘植 伊賀緑ヶ丘中学校	H30	0.101~0.112	68~71	384~392	●
伊賀柘植 伊賀緑ヶ丘中学校	R1	0.115~0.122	69~70	345~382	●

注)環境基準(長期的評価)達成状況:○達成、●:未達成

浮遊粒子状物質

測定局	年度	1時間値の最大値	年平均値	日平均値の2%除外値	環境基準達成状況
		mg/m3			
上野玄蕃	H12	0.409	0.037	0.083	○
上野玄蕃	H13	0.188	0.034	0.077	○
上野玄蕃、緑ヶ丘中学校	H14	0.129~0.293	0.023~0.034	0.050~0.079	-
上野緑ヶ丘中学校	H15	0.152	0.027	0.057	○
伊賀緑ヶ丘中学校	H16	0.164	0.026	0.060	○
伊賀緑ヶ丘中学校	H17	0.135	0.021	0.059	○
伊賀緑ヶ丘中学校	H18	0.414	0.026	0.064	○
伊賀緑ヶ丘中学校	H19	0.208	0.024	0.060	○
伊賀緑ヶ丘中学校	H20	0.105	0.022	0.048	○
伊賀緑ヶ丘中学校	H21	0.589	0.019	0.044	○
伊賀緑ヶ丘中学校	H22	0.152	0.020	0.054	○
伊賀緑ヶ丘中学校	H23	0.215	0.020	0.044	●
伊賀緑ヶ丘中学校	H24	0.112	0.021	0.053	○
伊賀緑ヶ丘中学校	H25	0.098	0.023	0.054	○
伊賀柘植 伊賀緑ヶ丘中学校	H26	0.079~0.086	0.017~0.021	0.042~0.049	○
伊賀柘植 伊賀緑ヶ丘中学校	H27	0.080~0.164	0.016~0.022	0.041~0.050	○
伊賀柘植 伊賀緑ヶ丘中学校	H28	0.085~0.094	0.015~0.017	0.031~0.035	○
伊賀柘植 伊賀緑ヶ丘中学校	H29	0.075~0.235	0.014~0.017	0.030~0.036	○
伊賀柘植 伊賀緑ヶ丘中学校	H30	0.064~0.101	0.014~0.017	0.033~0.040	○
伊賀柘植 伊賀緑ヶ丘中学校	R1	0.070~0.089	0.013~0.015	0.035~0.040	○

注)環境基準(長期的評価)達成状況:○達成、●:未達成

- ・ダイオキシン類は、環境基準を達成しています。(0.012~0.16 pg-TEQ/m³の範囲、環境基準(0.6 pg-TEQ/m³以下)) ※出典:環境白書
- ・河川水質は概ね環境基準達成しています。(久米川-芝床橋除く)

水域名	地点名	類型	平成14年度		平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
			BOD75%値	適否	BOD75%値	適否	BOD75%値	適否	BOD75%値	適否	BOD75%値	適否	BOD75%値	適否	BOD75%値	適否	BOD75%値	適否	BOD75%値	適否
木津川	大野木橋	A	1.6	○	1.6	○	1.2	○	1.7	○	1.1	○	1.0	○	1.0	○	1.0	○	1.1	○
木津川	岩倉橋	A	2.0	○	1.8	○	1.9	○	2.5	○	1.5	○	1.5	○	1.1	○	1.3	○	1.3	○
木津川	島ヶ原大橋	A	2.2	×	1.9	○	1.5	○	2.5	○	1.5	○	2.1	×	1.2	○	1.6	○	1.6	○
柘植川	山神橋	A	2.4	×	2.0	○	1.8	○	1.2	○	0.9	○	1.0	○	1.3	○	1.4	○	1.6	○
服部川	伊賀上野橋	A	1.7	○	1.6	○	1.7	○	2.2	○	1.4	○	1.5	○	0.9	○	1.1	○	1.3	○
久米川	芝床橋	B	4.7	×	3.3	×	2.8	○	2.5	○	2.5	○	2.4	○	3.7	×	4.0	×	4.4	×
比自岐川	柘川橋	A	1.3	○	1.5	○	1.5	○	1.0	○	0.9	○	0.8	○	1.0	○	0.8	○	1.1	○
水域名	地点名	類型	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
			BOD75%値	適否	BOD75%値	適否	BOD75%値	適否	BOD75%値	適否	BOD75%値	適否	BOD75%値	適否	BOD75%値	適否	BOD75%値	適否	BOD75%値	適否
木津川	大野木橋	A	1.2	○	1.0	○	1.0	○	1.2	○	1.0	○	1.0	○	1.2	○	0.7	○	0.8	○
木津川	岩倉橋	A	1.5	○	1.2	○	1.2	○	1.4	○	1.2	○	0.9	○	1.5	○	0.9	○	1.2	○
木津川	島ヶ原大橋	A	1.7	○	1.3	○	1.3	○	1.7	○	1.3	○	1.2	○	1.8	○	1.0	○	1.3	○
柘植川	山神橋	A	1.6	○	1.6	○	1.7	○	1.5	○	1.3	○	1.5	○	1.9	○	2.0	○	1.9	○
服部川	伊賀上野橋	A	1.4	○	1.2	○	1.0	○	1.5	○	1.2	○	1.0	○	1.3	○	1.0	○	1.1	○
久米川	芝床橋	B	4.5	×	3.4	×	4.5	×	4.1	×	3.6	×	2.7	○	5.3	×	4.0	×	3.7	×
比自岐川	柘川橋	A	1.4	○	1.0	○	1.0	○	1.2	○	1.0	○	0.7	○	0.7	○	1.2	○	0.9	○

注)環境基準適合状況:○適合、×:否適合
単位:mg/l 環境基準A類型:2mg/l以下、B類型:3mg/l以下

・河川水のダイオキシン類も概ね環境基準達成しています。

河川名	地点名	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
久米川	芝床橋	0.76 ○	0.60 ○	0.75 ○	0.98 ○	0.55 ○	0.55 ○	-	-	0.21 ○
比自岐川	栢川橋	0.24 ○	0.58 ○	0.39 ○	1.1 ×	0.37 ○	0.28 ○	0.370	0.830	0.28 ○
柘植川	山神橋	0.33 ○	0.21 ○	0.29 ○	0.48 ○	0.50 ○	-	0.360	-	0.19 ○
河川名	地点名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
久米川	芝床橋	0.35 ○	1.10 ×	0.84 ○	0.42 ○	0.55 ○	1.4 ×	0.38	0.40	0.49 ○
比自岐川	栢川橋	0.35 ○	0.83 ○	0.4 ○	0.30 ○	0.21 ○	0.46	0.18	0.20	0.22 ○
柘植川	山神橋	0.31 ○	0.76 ○	0.41 ○	0.36 ○	0.23 ○	0.86	0.31	0.15	0.25 ○

単位：pg-TEQ/l、環境基準 1 pg-TEQ/l 以下

・河川底質のダイオキシン類は環境基準を達成しています。

河川名	地点名	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
久米川	芝床橋	-	1.4 ○	1.8 ○	0.52 ○	-	-	0.550	-	0.83 ○
比自岐川	栢川橋	-	1.3 ○	7.5 ○	4.1 ○	4.0 ○	1.9 ○	0.280	0.37	6 ○
柘植川	山神橋	-	2.4 ○	0.70 ○	0.31 ○	-	-	-	0.36	0.7 ○
河川名	地点名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
久米川	芝床橋	5.5 ○	0.20 ○	0.5 ○	0.72 ○	0.32 ○	0.82	0.47	0.32	0.71 ○
比自岐川	栢川橋	22 ○	32 ○	3.1 ○	3.9 ○	0.18 ○	3.1	1.90	0.14	3.40 ○
柘植川	山神橋	0.52 ○	0.24 ○	0.39 ○	0.70 ○	0.30 ○	1.5	0.24	0.15	0.54 ○

単位：pg-TEQ/g、環境基準 150pg-TEQ/g 以下

- 地下水は環境基準を達成しています。

地点名		伊賀市上友田	伊賀市柘植町	伊賀市出後	環境基準
物質名	単位	H31.2.1	H31.2.1	H31.2.1	-
カドミウム	mg/l	<0.00003	<0.00003	<0.00003	0.003mg/L以下
全シアン	mg/l	<0.1	<0.1	<0.1	検出されないこと。
鉛	mg/l	<0.005	<0.005	<0.005	0.01 mg/L以下
六価クロム	mg/l	<0.02	<0.02	<0.02	0.05 mg/L以下
砒素	mg/l	<0.005	<0.005	<0.005	0.01 mg/L以下
総水銀	mg/l	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005 mg/L以下
PCB	mg/l	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと。
ジクロロメタン	mg/l	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 mg/L以下
四塩化炭素	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 mg/L以下
1,2-ジクロロエタン	mg/l	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004 mg/L以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/l	<0.002	<0.002	<0.002	0.1 mg/L以下
1,2-ジクロロエチレン	mg/l	<0.004	<0.004	<0.004	0.04 mg/L以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/l	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1 mg/L以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/l	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 mg/L以下
トリクロロエチレン	mg/l	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/L以下
テトラクロロエチレン	mg/l	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.01 mg/L以下
1,3-ジクロロプロペン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 mg/L以下
チウラム	mg/l	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 mg/L以下
シマジン	mg/l	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003 mg/L以下
チオベンカルブ	mg/l	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 mg/L以下
ベンゼン	mg/l	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 mg/L以下
セレン	mg/l	<0.002	<0.002	<0.002	0.01mg/L以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/l	0.30	0.56	1.0	10 mg/L以下
ふっ素	mg/l	0.10	0.09	0.13	0.8 mg/L以下
ほう素	mg/l	<0.05	<0.05	<0.05	1 mg/L以下
クロロエチレン	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 mg/L以下
1,4-ジオキサン	mg/l	<0.005	<0.005	<0.005	0.05mg/L以下

- 騒音の環境基準は達成しています。(令和元年度)

区分	環境基準 類型	用途地域 (路線名)	測定地点	等価騒音レベル(dB)			
				昼間	環境基準	夜間	環境基準
一般環境	A	第一種中高層住居専用地域	津地方検察庁伊賀支部	48	○	37	○
	B	第一種住居地域	市街地西部地区市民センター	45	○	43	○
	C	近隣商業地域	三重県伊賀庁舎	48	○	43	○
道路交通	B	一般国道25号	伊賀市守田町	65	○	61	○
	C	一般国道422号	伊賀市小田町	66	○	60	○

- 自動車交通振動要請レベル達成しています。(令和元年度)

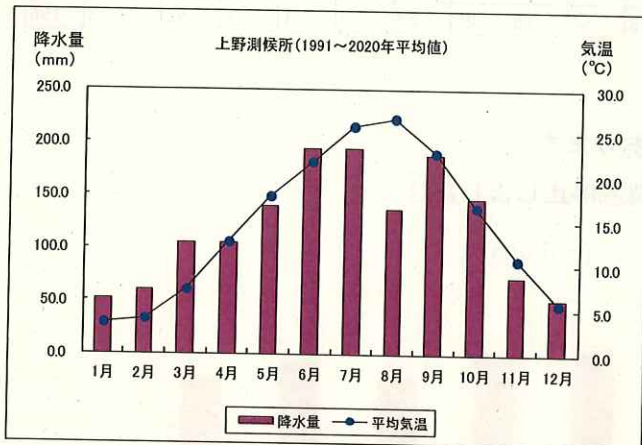
用途地域	路線名	測定地点	振動レベル(dB)			
			昼間	要請限度	夜間	要請限度
準工業地域	国道163号及び422号線	小田西交差点南	39	○	30	○

- ・ 土壌ダイオキシン類、環境基準達成しています。

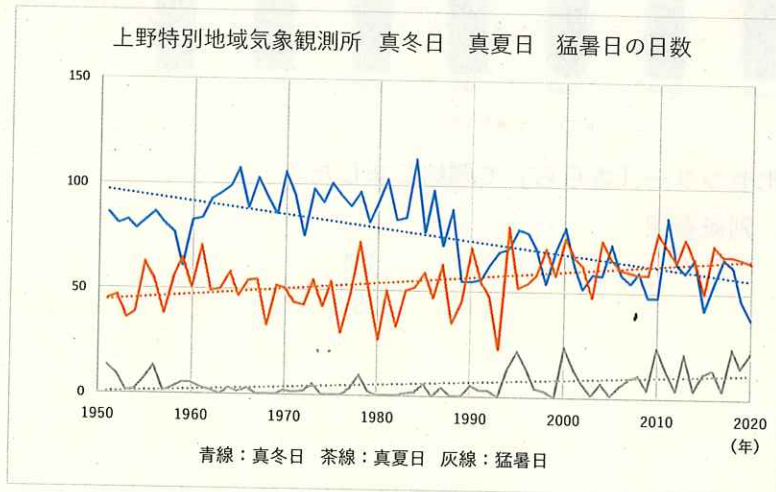
調査地点	単位	H16年度	H17年度	H25年度	R1年度
阿山運動公園第一運動公園グラウンド	pg-TEQ/g	-	-	-	0.16
柘植町	pg-TEQ/g	-	-	2.1	-
伊賀市上野与野	pg-TEQ/g	-	0.11	-	-
伊賀市蓮池	pg-TEQ/g	0.41	-	-	-
伊賀市才良	pg-TEQ/g	0.055	-	-	-
伊賀市中友田	pg-TEQ/g	0.012	-	-	-
伊賀市坂下	pg-TEQ/g	0.18	-	-	-
伊賀市高尾	pg-TEQ/g	0.78	-	-	-

環境基準：1,000pg-TEQ/g以下

- ・ 伊賀市の降水量と日照時間です。



- ・ 伊賀市の真冬日は減少し、真夏日と猛暑日は増加しています。



- ・ 各地の丘陵地を中心に大中型哺乳類の7種（ニホンザル、ニホンジカ、ツキノワグマ、イノシシ、キツネ、タヌキ、アナグマ）のうち、ツキノワグマを除く6種が、その他の動物として、ギフチョウ、オオムラサキなどが生息すると報告されています。

- ・伊賀市の指定・登録文化財は、年々増えています。

	建造物	絵画	彫刻	工芸品	書跡・古文書・典籍	歴史資料	考古	民族文化財		名勝及び史跡	史跡及び名勝	史跡	天然記念物 (特別天然記念物含む)	計
								有形	無形					
国指定	8	2	18		2		1		2	1		7	3	44
県指定	13	10	33	11	11	2	6	3	7		1	12	6	115
市指定	42	13	56	27	41	13	18	14	7			31	24	286
計	63	25	107	38	54	15	25	17	16	1	1	50	33	445
国選択									1					1
国登録	48													48
市登録												2		2
合計	111	25	107	38	54	15	25	17	17	1	1	52	33	496

令和2年4月1日現在

- ・伊賀市のごみ処理量は年々減少傾向にあります。
(さくらリサイクルセンターは、RDF 製造停止しました。)



- ・し尿の処理は、伊賀市浄化センター「さらら」で開始しました。
- ・市民の意識調査の結果は、別紙参照